

会 長 表 彰

2009 年（平成 21 年）6 月 25 日



伊 藤 昌 勝（建設部門）

1. 略 歴

技術士登録（H 6）

(社)日本技術士会入会（H 11）

センター理事（H 9～H 10）

センター副会長（H 11～H 14）

センター会長（H 15～H 18）

支部幹事（H 15～H 18）

支部顧問（H 20～現在）

2. 会長表彰を受賞して

念願のお伊勢参りをして来ました。神宮は式年遷宮の準備で大忙しのようです。1,300 年前から 20 年ごとに行われるこの行事は、蘇りを繰り返しては紡いで行く命の営みを模しているとも言われています。恐らくは、伐り出しや宮大工などの技術は完成された形で引継がれて来たのでしょう。

とかく技術は日進月歩するもので、5 年・10 年前のものは通用しないと見られがちです。しかし、全ては根幹の処で通底しております。我々は、この眼に見えない部分こそ大切にすることが必要があると考えます。

このたび、技術士会から大変な栄誉を頂きました。感激しております。ただ、先輩には「お前は口先技術士だ」と本当のことを言われております。これからも口舌の徒として、仲間に置いて頂ければ幸甚に思います。ありがとうございました。



能 登 繁 幸（建設／総合技術監理部門）

1. 略 歴

技術士登録（H 9）

(社)日本技術士会入会（H 10）

青年技術士協議会会長（H 元～H 2）

センター理事（H 3～H 8）

防災研究会会長（H 7～H 12）

センター副会長（H 9～H 18）

支部幹事（H 11～H 18）

事業委員長（H 13～H 18）

副支部長（H 19～現在）

2. 会長表彰を受賞して

この度、北海道支部の推薦により、会長表彰をいただきました。関係各位ならびに支部会員の皆様に、心より御礼申し上げます。

私は昭和 57 年に技術士第二次試験に合格しました。北海道技術士センター（当時）に入会して、皆様の活動を静かに端から眺めていたはずなのに、いつの間にか青年技術士協議会の初代会長にまつりあげられ、その後は防災研究会の初代会長、技術士登録して技術士会入会後には事業委員会の委員ならびに委員長、総務委員会の委員ならびに委員長、そして現在は副支部長、そして本部理事を仰せつかっています。

おかげさまで、様々な活動を通して多くの仲間と知り合えました。まさしくそれは貴重な宝物であります。今後とも、技術士会ならびに支部のますますの発展に尽力したいと考えております。